

ほむ・ほむ通信

No. **69**

生協の組合員と日本ユニセフ協会を結ぶネットワーク通信「ほむほむ通信」は、生協組合員のボランティアグループで発行・編集をしています。生協のユニセフ活動に積極的にご活用ください。



© UNICEF Nepal/2015/KPage
地震の被害に遭ったネパールの女の子たち



2015年度ユニセフリーダーセミナー
参加者の皆さん



©日本ユニセフ協会/2014
栄養指導をするシエラレオネの
母親支援グループの副リーダー

目次

- ◇ネパール大地震 緊急募金 1
- ◇知っとこ。ユニセフ 3
 - イノベーション
- ◇世界の子どもたちは今 4
 - イエメン「子どもは兵士じゃない」
- ◇生協のユニセフ支援活動 5
 - ネパール大地震緊急募金
- ◇トピックス
 - * 知ってる? 「世界トイレの日」 7
 - * コープネット「ハッピーミルクプロジェクト・シエラレオネ」 8
 - * 2015年度ユニセフリーダーセミナーを開催しました! 9

ほむ・ほむ通信 活用のすすめ

- ・ すべてのページをコピーしなくても、「知っとこ。ユニセフ」や「世界の子どもたちは今」を集めて、資料としてご活用いただけます。
- ・ ユニセフのつどいやユニセフ展、学習会の際に資料としてご活用いただけます。
- ・ 店舗の募金箱の近くに置いて、生協のユニセフ活動を紹介する際にご活用いただけます。
- ・ 生協の管理している文化センターなど、共用施設の雑誌コーナーなどにもご活用いただけます。
- ・ 写真のコンテンツも充実しているので、カラーコピーでのご使用をおすすめします。



ネパール大地震 緊急募金

～地震発生から4ヵ月～いまだ危機的状況にある子どもたち～



© UNICEF Nepal/2015/KPage

地震の被害に遭ったネパールの女の子たち

ネパールで4月25日に発生した最初の大地震から4ヵ月。子どもたちは引き続きさまざまなリスクに直面しています。家族はさらなる貧困に陥り、いまだ支援を必要としているのです。

4ヵ月間で人道的状況は改善されましたが、何十万人もの子どもたちがいまだに避難所、食料、水や衛生設備(トイレ)、医療、教育、保護を必要としています。約100万人の被災した子どもたちが地すべりや洪水の危険性のある地域に住み続けています。雨季に入り、このような地域へのアクセスはますます困難になり、子どもたちの水やトイレ、教育、保健

サービスへのアクセスは脅かされています。さらに、人身売買を含む搾取や虐待の高い危機にもさらされているのです。

最初の地震が発生してから、1万人以上の子どもたちが急性栄養不良に陥っていることが確認されています。この中には1,000人以上の重度の急性栄養不良の子どもたちが含まれています。200人以上の子どもたちは親や世話をしてくれる人がおらず、600人以上の子どもたちが地震で片方または両方の親を亡くしています。3万2,000以上の教室が崩壊し、90万近くの家が破損、または倒壊しています。

◆ 貧困の削減状態のもろさを明らかにした震災

被災した子どもたちと彼らの家族の緊急のニーズに対処するために、ユニセフは1,500万ドル相当(約18億円)の支援を、最も被害を受けた19の郡の、推定45万人の子どもたちを含む約33万の家庭に支給しました。この支援は、既存の政府の社会的援助プログラムを通して届けられ、その対象には、ダリット(低カースト)の子どもたちや障がいのある人々、未亡人やお年寄り、社会から取り残された少数民族の人々も含まれています。



©UNICEF/PFPG2015-3427/Shrestha

子どもたちに食べ物を食べさせる父親。

ユニセフ・ネパール事務所の穂積代表は「震災は、ネパールの貧困削減の状態のもろさを明らかにしました」と話します。「緊急支援を越えて、ユニセフの優先事項の一つは、政府が子どもたちとその家族にとって確実に予測可能な所得の保証を行えるよう支援することです。社会保障システムを強化・拡大し、危機への対応力を向上させることは、通常時の子どもたちの幸福と成長や、子どもたちの家族が将来の災害に対処する能力を向上させることにもつながるのです。」

◆ ユニセフ日本人職員によるネパール大地震緊急支援 報告会を開催

8,000人以上の犠牲者を出したネパール大地震。110万人の子どもたちが支援を必要とするなか、ユニセフは“Build Back Better”（ビルド・バック・ベター）＝「災害発生以前からあった問題も復興支援を通じて解決する」の理念のもと、活動を続けています。

地震発生から3カ月が経過した7月28日、ユニセフ・ネパール事務所 穂積智夫代表、ならびに同事務所 関根一貴 保健専門官、ユニセフ・南アジア地域事務所 鈴木恵理 子どもの保護専門官による現地報告会が、ユニセフハウスで開催されました。



© 日本ユニセフ協会/2015
保健・栄養・教育・水と衛生について報告を行う関根さん。

大地震の前から、ネパールの子どものおよそ10人に4人が発育障害に苦しんでいました。また、5～14歳の子どもの3人に1人が、児童労働に従事しているとされ、18歳未満で結婚する女の子の割合は41%にものぼり、出生登録率は42%にとどまっています(出典：世界子供白書2015)。

ユニセフは、ネパールが大地震以前に抱えていた課題へも、緊急復興と同時にアプローチし、災害前よりもよりよい環境を築くという目標を掲げ、世界の緊急・復興支援を行っています。ユニセフは、緊急支援下において「あらゆる自然災害で最も困難な状況に置かれてしまうのは子どもたち」という理念を掲げ、子どもがきちんと守られ、未

来につないでいけるための取り組みを行っています。

報告会へ参加された方々からは、「未来を築き上げるのは子どもたちです。世界のどの国に生まれようと、すべての子どもが健康で教育を受け、輝いて欲しいと思います」「支援の継続は、現地からの生の情報によって、状況を知り、現実と向き合うこと、そして、それによって“忘れない”こと、“伝える”ことから、とれました」「どんな災害にあっても子どもは教育に渴望していることが身にしました」といった声を頂戴しました。

人口のおよそ半分が18歳未満のネパールでは、深刻な被害と子どもたちへの影響が心配されています。ユニセフは、2015年緊急支援活動に資金として、総額1億2,000万ドル(約144億円)の支援を国際社会に呼びかけています(2015年8月19日時点)。

※日本ユニセフ協会が4月26日から受付を開始した「ネパール大地震緊急募金」には、全国で50以上の生協が取り組みました。皆様のご協力に感謝いたします。

◆ ネパール大地震 緊急募金 ◆

日本ユニセフ協会では、ネパールで発生した大地震の影響で厳しい状況下に置かれている子どもたちに対して、ユニセフが行う緊急支援のためのネパール大地震緊急募金を受け付けています。あたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

郵便局(ゆうちょ銀行)募金口座
振替口座:00190-5-31000
口座名義:公益財団法人 日本ユニセフ協会

*通信欄に「ネパール」と明記願います。
*窓口からのお振込の場合、送金手数料は免除されます。

知りたい? 知っそこ。ユニセフ イノベーション

今回は「世界子供白書2015」のテーマにもなっている「イノベーション」について、ご紹介します！

まずは イノベーションとは？！

- ☆ innovation 語源はラテン語のinnovate（新たに作る）。
- ☆ a new idea, method, invention.
- ☆ 日本語訳では「革新」、「刷新」…なんだか日本語のほうが難しいかも。
- ☆ 中国語には「創新」という訳もあるとか？こちらのほうが、ピンとくる人もいるかもしれませんね。

ユニセフの指しているイノベーションとは ※世界子供白書 2015 より
 「分野や世代、地域を超越し、相互に結びついたシステム。
 問題解決に取り組む人々の新たなネットワークを創造すること」

今、いろいろな村・町・地域・場所で芽生えたアイデアを、交換し合うための「ラボ」がインターネット上に作られています。このラボには、世界中、どんな人でもアクセスしてアイデアを発信することができるのです。

つまりこんなイメージ



ユニセフ イノベーション

で検索して、ぜひ・ぜひアクセスしてください。

http://www.unicef.or.jp/children/children_now/innovation.html

いろいろなイノベーションのストーリーがご覧になれます。

例えば・・・

ウガンダの給食調理のイノベーション！
 「トイレを流すと給食ができる??！」



内容はこちら！
<http://www.unicef.org/jp/library/sowc/>
 ※このストーリーは動画でもご覧いただけます

©UNICEF Video



「世界子供白書2015」特設ページ（ユニセフ本部サイト—英語）にもアクセスしてみましょう。世界の人々が問題解決するためにどのような行動を起こしているのかがわかる、「イノベーション・マップ」（世界地図）もご覧いただけます。

<http://sowc2015.unicef.org/>



世界の子どもたちは今

イエメン

「子供は兵士じゃない」



イエメンは、国内の政治不安、長く続く紛争（内紛）で、人口の61パーセントが人道支援を必要としています。広範囲な食糧危機、重度の急性栄養不良、子ども兵士の徴用などで、以前にも増して子どもたちの状況は悪化しています。



イエメンでは、今年の3月から紛争がまた激しくなって、398人もの子どもが殺害されたんだって。

ユニセフは最も深刻な状態の『レベル3の人道危機』に指定したんだよ！

兵士として戦っている子どもたちもいるんだ。



1



イエメンは、政府軍が子どもたちを、兵士として徴用している国のひとつなんだ。

でも去年の5月に『武力における子どもの徴用をやめさせ予防する』という国連との行動計画に署名したんだよ。

子どもは兵士にしません！
約束します。



約束します！

2

兵士にならなくていいんだね。よかった～！

でもね、銃を持たされて、人を殺したり、極度の緊張と恐怖の体験は、子どもたちの心を深く傷つけているんだって。



3



だから社会復帰のための、いろいろなプログラムが用意されているみたい。

ユニセフは『子どもの兵士の社会復帰センター』を設けて、解放された子ども兵士のケアを行なっているのよ。



絵を描く



遊ぶ

歌や遊ぶこと、絵を描いたりしながら心のケアを。また、スポーツやゲームで人と社会との付き合い方を学んだりするの。



政府やときには武装勢力とも話し合い、子どもを兵士にしないよう見守り続けているんだね。

4

生協のユニセフ支援活動 Partnership



全国の生協がネパール大地震の緊急募金に取り組んでいます

4月25日午前11時56分、ネパールのカトマンズ近郊でマグニチュード7.9の大地震が発生し、ネパールは大きな被害を受けました。日本ユニセフ協会は4月26日から「ネパール大地震緊急募金」を開始しました。これに応え、50以上の生協が募金活動に取り組みました。今回は各生協のホームページでのリリースから、取り組みのいくつかを紹介します。



© UNICEF/NYHQ2015-1081/Karki

ユニセフの支援により設置された子どもにやさしい空間。(カトマンズ)



組合員が店舗で募金を呼びかけました (いわて生協)

いわて生協は、ネパールの大地震で被災した子どもたちを救おうと、店舗・共同購入で募金活動に取り組みました。店頭では「私も被災者だから」と、募金をしてくださった方もおられました。また、職員も各部署内で募金袋をまわして募金を集め、寄せられた募金は336万2,864円となりました。



ベルフ牧野林での募金活動の様子



店舗や共同購入での募金に取り組み、500万円以上が集まりました (みやぎ生協)

みやぎ生協は日本ユニセフ協会の「ネパール大地震緊急募金」の呼びかけに応え、メンバー（組合員）・職員に募金を呼びかけました。店舗では5月1日から6月19日まで緊急募金箱を設置し、共同購入では6月3週・4週の注文書で協力をお願いしました。寄せられた募金の合計は513万8,645円と、大変大きな金額でした。

7月17日には、みやぎ生協理事会の場で募金贈呈式を行い、みやぎ生協宮本弘理事長（写真左）より、宮城県ユニセフ協会清水智子専務理事（写真右）に目録を手渡しました。「募金額の報告とお礼」のため、みやぎ生協の店舗にお知らせのポスターを掲示しました。



目録の贈呈



「ネパール大地震緊急募金」に取り組み、約 180 万円を集約（生協共立社）

生協共立社では4月28日から5月29日まで募金活動を行い、179万9,800円の募金を集約しました。募金は日本ユニセフ協会にお送りしました。



OCR 注文書とイベントでの募金で、172 万円が集まりました（富山県生協）

富山県生協では、OCR（注文書）による募金とイベント時に現金で頂きました募金合わせて172万4,047円が集まり、それらを6月19日に日本ユニセフに送金しました。



店頭での募金活動や、エリア総代会議での募金に取り組みました（おかやまコープ）

おかやまコープでは、ネパールの地震で被災した子どもたちを支援するため、5月5日～31日、全11店舗で「ユニセフネパール大地震緊急募金」に取り組みました。また、5月8日～12日に開催された「エリア総代会議」会場でも募金を呼びかけ、合計で14万5,000円が寄せられました。



約 96 万円を県ユニセフ協会に託しました（コープかごしま）

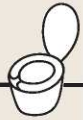
ネパールの子どものための救援活動に取り組んでいるユニセフの活動への支援として、5月に「ユニセフ・ネパール大地震緊急募金」に取り組みました。5月末日までに寄せられた募金総額は96万2,186円でした。

7月9日に生協コープかごしまの本部で募金の贈呈式を行いました。生協コープかごしまの和田会長理事から、鹿児島県ユニセフ協会の有村副会長へ募金の目録を手渡しました。



目録の贈呈

有村副会長からは「いつもご協力いただき、感謝しています。昨年末のエボラ緊急募金の際も、また今回のネパール地震緊急募金にも、生協コープかごしまがいち早く協力いただいていることは、鹿児島県ユニセフ協会として大変心強いことです。世界には幼い子どもの命が危機的な状況になっているところが数多くあります。自分も先の大戦後にユニセフに助けられた世代ですが、今取り組んでいるのは未来への恩返しだと思っています」とお礼とあいさつがありました。



©UNICEF/UNI165180/Dormino
トイレを使用した後に手を洗う女性 (ハイチ)

目指していること

過去、20年ほどの間に、トイレを使える人たちの割合は少しずつ増加してきました。

1990年には**49%**だったその割合は、2015年では**68%**にまで向上。しかし、ミレニアム開発目標で掲げた【2015年にはトイレを使える人を**75%**にする】には、届いていません。



©UNICEF/NYHQ2006-2160/GEORGINA CRANSTON
避難民キャンプ内のテント型トイレの前に立つスーダンの子ども

「世界トイレの日」とは?

あまり聞きなれないと思いますが、2013年、国連によって毎年11月19日が「世界トイレの日」に制定されました。なぜ11月19日かというと、世界トイレ機関が創設され、トイレ問題の解決を話し合う第1回世界トイレサミットが開催された日に、ちなんでいるからです。世界ではいまだ**3人に1人がトイレを使えない**現状にあり、トイレがないところでは屋外排泄などのため、細菌がさまざまなところから体内に侵入し、それらが原因で子どもたちは下痢を発症。**1日に、約1,000人も命を落として**いるんです。そんなトイレにまつわる問題を世界のみinnで考え、少しでも改善していくために定められた日、これが「世界トイレの日」です。

ユニセフの取り組み

世界では、トイレ不足をはじめ、手洗いなどの適切な衛生観念や習慣が普及していないために、多くの幼い子どもたちが**予防可能な病気で命を落として**きました。そのような問題を少しでも改善していくために、ユニセフは「水と衛生」の分野において、さまざまな活動を行っています。1946年に活動を開始して以来、これまで世界中でトイレの**作り方**を教えたり、トイレ作りに必要な**資材**を届けてきました。また、トイレの後の手洗いの**普及**など衛生的な生活についての知識を広める活動も展開しています。

***** <http://worldtoiletday.jp>

もし、この日本で大きな地震がきてトイレが使えなくなったら・・・と考えると、ひとごとは思えませんね！ひとりでも多くの子どもたちが、清潔なトイレを使い、健やかに成長できるように、私たちにできることは何か考えてみたいものです。





牛乳1本で1円を支援。 コープネット「ハッピーミルクプロジェクト・シエラレオネ」

生活協同組合連合会コープネット事業連合が実施するハッピーミルクプロジェクトは、コープマークの牛乳1本お買い上げにつき、1円がユニセフに寄付され、シエラレオネの子どもの栄養改善プログラムに役立てられます。

ひとりでも多くの人たちに世界の子どもの状況を知らせ、子どもの栄養不良や世界の食料問題の社会的関心を高めることを目的に、2008年から始まったプロジェクトです。開始当初はモザンビークの母子を支援していましたが、2014年からは5歳未満児死亡率が世界で2番目に高い（2013年の統計）シエラレオネを支援しています。

シエラレオネでは、古くからの因習や内戦の影響で、正しい栄養の知識を持つ人が少なく、また医療の質やサービスが不十分なことで、子どもたちの健康は脅かされています。また2014年に発生したエボラ出血熱の流行により、保健施設に行く機会がさらに遠のいてしまいました。

ハッピーミルクプロジェクトで支援する活動では、栄養の知識を持つ保健員や母親支援グループを増やし、歌や踊り、紙芝居などを通して、保健センターの重要性や完全母乳などの栄養の知識を広めていきます。

2015年の第2回キャンペーン期間は10月26日～11月29日（5週間）を予定しています。シエラレオネの子どもたちを笑顔にする活動にぜひご協力をお願いします。

コープみらい組合員である
ぼむぼむ通信編集員から

利用している方からは「牛乳で募金ができるので生協で牛乳を買っています」「身近な社会貢献ができいいと思います」などの声をよく耳にします！

牛乳のお買い上げによる寄付以外にも、コープデリ宅配のOCRや、eフレンズ、店舗でも募金を受け付けています。コープネットの生協組合員のみなさま、是非ご協力をお願い致します。



◎日本ユニセフ協会/2014
文字がわからない人にもわかりやすいよう、紙芝居による栄養指導をする母親支援グループの副リーダー

※コープネット事業連合以外の生協に加入している方も、ハッピーミルクプロジェクト・シエラレオネへ直接募金をお寄せいただくことができます。

◆郵便振替口座 00190-5-31000

◆口座名義 公益財団法人日本ユニセフ協会

※通信欄に「ハッピーミルクプロジェクト」と必ず明記ください。

※窓口での振り込みは手数料免除。

2015 年度ユニセフリーダーセミナーを開催しました！

2015年度ユニセフリーダーセミナーを7月28日にユニセフハウス（東京都港区）で開催しました。当日は16生協から31人が参加しました。今年度は、ネパール大地震を経験されたユニセフ・南アジア地域事務所（ネパール・カトマンズ）の鈴木恵理氏をお招きし、講演いただいたほか、各生協の事例報告、グループワークを実施しました。



リーダーセミナー参加者の皆さん

1. 目的と参加者

地域におけるユニセフ活動の担い手を育て、各生協での募金や学習活動などをさらに発展させていくために年1回実施しています。対象は、生協のユニセフ活動に関わる組合員と役職員です。

2. 開催日時と場所

日時：2015年7月28日(火) 10:00～16:00

場所：ユニセフハウス2階会議室

※参加者のうち希望者を対象に、ユニセフハウス見学を16:00から行いました。

3. プログラム概要

(1) 生協のユニセフ活動、ユニセフ及び日本ユニセフ協会の活動の概況報告

日本生協連と、日本ユニセフ協会からそれぞれ報告しました。

(2) 講演：「ユニセフ・南アジア地域事務所の活動とネパール現地支援活動報告」

講師：ユニセフ・南アジア地域事務所 子どもの保護専門官・鈴木恵理氏

- ・ネパール大地震発生時の、南アジア地域事務所の対応について報告されました。
- ・震災後に増加が懸念される、子どもの人身売買について報告されました。特に、かねてより問題視されていた、ネパール国内のリゾート地での孤児院ビジネスの問題を提起されました。途上国でのボランティア体験を希望するツーリストの受け皿として、孤児院が設立され、そこに本来、孤児院への収容が必要でない子どもが、人身売買により親元から引き離され収容される、という問題です。善意のボランティアが必ずしも現地の子どものためにはならないという具体的な事例は、参加者に衝撃を与えました。
- ・ユニセフの、妊娠・子育て中の女性職員への配慮についても紹介されました。



鈴木恵理さん



質疑応答の様子

(3) 全国の生協からの報告（ならコープ・コープさっぽろ・コープみらい）

ユニセフ活動を豊かに広げていくための工夫を切り口に、3生協で取り組んでいるユニセフ活動について報告がありました。

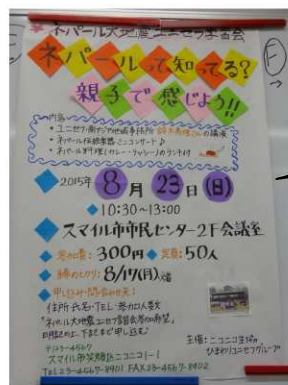
- ・ならコープ：組合員のボランティアグループ「withユニセフの会」の活動が紹介されました。「withユニセフの会」は、積極的に出前講座を行い、手作りのツール（紙芝居）等を使って地域での学習活動に取り組んでいます。
- ・コープさっぽろ：ブータン指定募金の取り組みが紹介されました。募金を集めるために、店舗・宅配での募金活動のほか、視察報告会、学習会、バザー等に取り組んでいます。また、書き損じハガキ等の回収・売却益の募金にも取り組んでいます。ブータン指定募金のために制作されたきれいなツール（ポスター・組み立て式ミニ募金箱等）が、参加者の関心を引きました。
- ・コープみらい：地域ごとの委員会（ブロック委員会）による、地域でのユニセフ活動推進、事業を通じた募金（ハッピーミルクプロジェクト）、店舗・宅配のインフラを活かした募金（店頭募金箱・OCR募金）について紹介されました。

(4) グループワーク「ユニセフの学習会の案内を作ってみよう！」

ネパールについての架空の学習会企画の告知ポスターをグループごとに作りました。完成したポスターをグループごとに参加者の前で発表し、参加者はコメントを付箋に書いて、フィードバックしました。案内を作成する際にどのような点に気を配ればよいか考えるよい機会となりました。



キャッチコピーは何にしようか？
どんな人に来て欲しいかな。

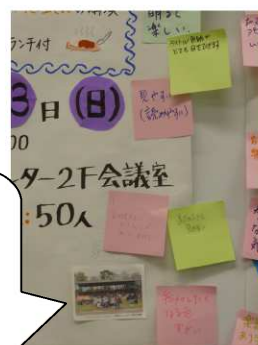


何とか時間内に完成！
みんなにみてもらおう☆

情報をわかりやすく並べようよ。
折り紙でカラフルにしよう♪
時間が足りないよ～！



参加者のみんなから、コメントを付箋でフィードバック！何て書いてあるかな？



★参加された皆さんの声

- ・『ボランティア』のあり方について改めて考えさせられました。現地で活動されている『生の声』を聞き、ユニセフ活動を広めたいです。」
- ・「他生協の募金を集める工夫が参考になりました。広報作成は久しぶりに現場の気持ちになって見やすさ、インパクトの工夫を考え、楽しかったです。コープさっぽろの常に取り組みをブラッシュアップさせるという気持ち、見習いたいです。」

ぽむ・ぽむ広場

編集後記

編集ミーティングの裏話一月に1度、品川のユニセフハウスに数名が集まり、テーマに沿って何を書きたいかを持ち寄る。みんな、ちゃんと自分で書きたいことが決まっていて、私などは「スゴイ！」と感心しきり！ミーティングの中に出てくる言葉の意味も分からない時があり、スマホと首っぴきで検索！ウムウム・・・と、頷いていたら、もう会話は進んでいる始末。こんな繰り返しで、はや数年。「なぜ続けているの？」そうねえ、仲間の真摯な姿をステキだって思ったから。いっぱい見習いたいと思ったから・・・みんなも1度、ユニセフハウスに来てみてくださいいネ！新しい発見があるかも。 (おくに)

ユニセフ*コープネットワーク

ぽむ・ぽむ通信

No. 69 2015年9月15日発行

編集 **グループ ぽむ・ぽむ**

スタッフ・編集／蛸沢・小池・武田・立川・土橋・
浜崎・松本・山本・石尾・櫻井

発行 日本生協連 組合員活動部

〒150-8913

東京都渋谷区渋谷 3-29-8 コーププラザ 11F

TEL03-5778-8124 FAX03-5778-8125

ホームページ <http://jccu.coop/unicef/>

○次号は、2015年12月15日に発行予定です。

ぽむ・ぽむ通信・ひとことカード

今回の「ぽむ・ぽむ通信」はいかがでしたか？ご感想やご意見・ご要望をお寄せください。次号以降の参考にさせていただきます。

生協名： _____

氏名（ペンネーム可）： _____ 《 組合員・役職員・その他 》

ご協力ありがとうございました！下記の宛先までお送りください。

宛先：日本生協連 組合員活動部 FAX：03-5778-8125 MAIL：kumikatsu@jccu.coop